



横浜市立富岡小学校 学校だより 1月号



新年、あけましておめでとうございます。

平成31年は亥年。「猪見て矢を引く」ということわざがあります。事が起こってからでは遅いという意味だそうです。小学校は、平成32年度の新教育課程の完全実施に向けて、準備を進めています。地域に開かれた学校教育を軸に目標を共有し、富岡小学校の子どもたちの健やかな成長、安全、安心で学校生活がおくれるよう着実に歩みを進めてまいります。今年もまた、保護者、地域の方々にお世話になります。よろしくお願いいたします。

◆幼・保・小交流活動 12月14日(金)

穏やかな天候の元、本校に4月入学予定の子どもたちが、1年生と交流活動をしました。11月の就学时健康診断について2回目の来校となります。入学前に学校に足を運ぶことにより、子どもたちの入学の意識を高めていきます。また、1年生にとっては、学校を案内することや遊びリードすることで次の学年、上学年への意識を高めていきます。

◆キャリア教育 横浜市立大学医学部 5年出前授業 12月19日(木)

「依存症のお話」をテーマに薬物、アルコール、たばこ等の心と体に与える影響、日々の生活に満たされない思から依存に至る心の動きなど医学生、看護学生によるプレゼン、依存ならないための子どもたちの話合いを通して学ぶことができました。医師、看護師という職業に関心をもつこともできました。

5年生では、これまで月1度程、朝の時間を使って地域にお住いの方を中心に、「生き方」「仕事」についてお話を伺ってきました。職業を選んだきっかけ、やりたいことを目指して仕事を変えたときの思い、職場内での担当がかわった時の思い、仕事と趣味を目指す生き方、仕事のない時にまちを盛り上げるために活動する気持ち、自分がやりたいことと仕事は必ずしも一致しない現実で悩んだことなど社会の第一線で活躍している方々の生の話を聴くことができました。将来のために今何をすることが大切なのか、勉強の意味について、人と人のつながり、自分たちが生活するまちについての思いを伺うことができました。

これからの社会は情報ネットワークの一層の発展、AIロボットの普及等、今後の働き方は今の状況とは大きく異なることが予想されます。それにともない多様な働き方がますます増え、仕事が見えにくくなってきつつあります。横浜市では、キャリア教育を「自分づくり教育」と表現しています。「自分は社会と関わりどのように生きるか」「ここに生まれて、ここで暮らせてよかった」という自分と社会を常に関わらせながら学ぶことが大切であり、体験的に学ぶこと、いろいろな人との出会いの中で学ぶことの意味もここにあります。

柔軟にかつたくましく生きるための力を付けていくことが大切だと考えます。ご家庭でも機会をとらえて仕事、「生き方」など話題にさせていただけると幸いです。

◆地域の方々との交流活動 12月20日(木)

5組裏の畑では、花だん隊の方々と一緒に年間を通じて栽培活動を行っています。20日は、花だん隊の方々をお招きして前半はゲーム、後半は会食を通して「サツマイモ交流会」をしました。今年は、塩害の影響で大根の葉が枯れた時期があり収穫が心配されましたが、花だん隊の方々のお世話のおかげで収穫ができました。ありがとうございました。

◆「人権週間の取組／人権について考える」12月17日(月)

スマイル委員会から「人権って何」「ユニセフ」についてのお話がありました。誰もが安心して豊かに生活を送れるようにするためには、相手の立場に立って考えることの大切さを確認しました。

また、1月8日から11日までの期間、ユニセフ募金活動を行います。ご協力をよろしくお願いいたします。